

社会科

【研究主題】

今を語り、明日を創る生徒の育成

【研究副主題】

現代社会を俯瞰し、学びをつなげる学習の展開

公開授業

学級：3年4組 授業者：中本雄太



シンポジウム～「平和」とは何か？～

私は歴史的分野の学習において、生徒に歴史的事象と今（現代社会）のつながりを持たせることの難しさを感じてきました。ここでいう「つながり」とは、歴史的事象を個別の知識として覚えるのではなく、知識や事象同士のつながりを見いだすことを意図しています。

そこで、年間を通した問いを設定し、分野を越えてその問いに対する考えを蓄積させる

“歴史と今を繋げ、学びの価値を実感させる授業” を御提案いたします。

今年度本校社会科では、3年時の社会科学習を貫く問いとして「平和とは何か」を設定しています。長崎で暮らす私たちだからこそ大切にしたい「平和」。歴史的分野の学習の中で歴史的事象を学び、私たちが生きている今の社会の中で起きている事象と比較したり、関連付けたりすることで、「歴史の学び」と「今」を繋げます。このサイクルを繰り返しながら「平和」とは何かを考え続け、「平和」に対する考えをさらに深めます。

当日は、シンポジウムを公開いたします。生徒が、これまでの学習を通して考えた「平和」を提言します。歴史の学びと自分の生活を往還しながら考え、語り合い、学びの価値を実感する生徒たちの姿を御覧いただければと思います。

メタ認知との関わり

単元を貫く問いを追究することを通して、これまでの学習や、自分自身の認識の変容を振り返り、**メタ認知**を働かせることに主眼を置きます。

「平和」に対する当初の意見と、授業を終えた段階で構築した意見とを比較したり、ヨーロッパの日本人学校の生徒の考えと比較したりすることを通して、自身の「平和」に対する認識の変容を自覚させ、**メタ認知的活動**をより一層促します。

[詳細はこちら](#)

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年6月19日（水） 13:20 ～ 16:45

